



受験生ねらう痴漢なくせ

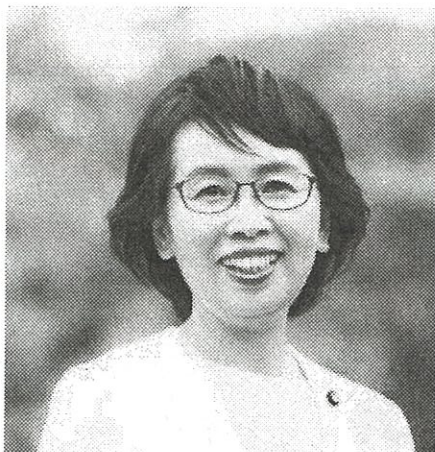
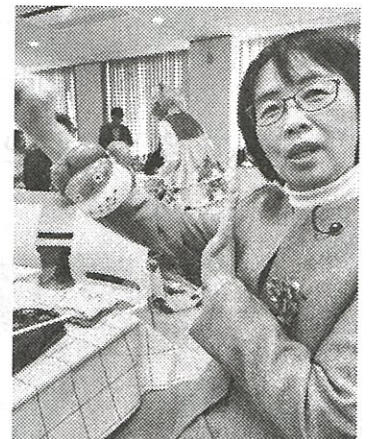
国会議員団と都県議で国に対策を要請

大学入試共通テスト前の11日、国会議員団と都議、神奈川と千葉県議などで受験生を狙う痴漢への対策強化を申し入れました。遅刻のおそれから被害を訴えにくい受験生を狙い、痴漢をおおる SNS 投稿が問題になっています。痴漢の目撃者が動くと加害の9割が止まるとの調査結果もでており、第三者の介入の啓発が求められています。申し入れは、駅や電車などの警備の強化、追試の対象であることの周知、被害者への支援強化などです。私からは、警備がどの程度強化されたのか示すように求めました。

埼玉県でも県内の主要駅や共通テスト会場の最寄り駅で制服警官による警備が強化されています。これから高校入試もスタートします。党県議団では、県に対して23日に申し入れを行いました。被害者を出さないこと、周りが声をあげることが大切です。

(右写真) 埼玉土建ふじみ野支部の旗開きで風船トトロに大喜び

(左写真) 埼玉土建本部の旗開き。被災地の住宅再建について交流しました



伊藤はつみ

県政のとびら NO.18

発行 日本共産党 伊藤はつみ県政事務所 2024年1月28日

〒356-0050 ふじみ野市ふじみ野3-10-39

電話・FAX 049-269-1811

内閣府よりお知らせ「重要土地等調査法」って何？ 大井通信所周辺での不安の声に应运



調査・監視対象の区域を示す
伊藤県議



大井通信所の周辺1キロが「特別注視区域」に指定、1月15日に施行されました。安全保障上重要な施設なので、その機能が阻害される行為が行われていないか土地利用状況を調査するとしています。どんなことが阻害行為なのか、いつどんな調査するのか法律の条文には明記されていません。周辺1キロには、三芳町や川越市も含まれます。

ふじみ野市の広報1月号に「重要土地等調査法について」お知らせが掲載されました。ほとんどの方が気づいていません。そこで、町会が申し入れて、内閣府のお知らせリーフが周辺世帯に配布されました。

国にも市町にも説明会を求めましたが実施しないというので、党ふじみ野市委員会で学習会を始めています。1月21日の会場では「次の世代まで続くとなると困る」「土地の価格が下がるなんて」とたくさんの疑問・意見が出されました。

★次の学習会は2月3日（土）午後2時～ ふじみ野市亀久保西会館です。



上福岡(坂下)地域のもちつきにお邪魔しました。この草餅のねばりに負けず、政治を変えるために一緒に粘り強く頑張りましょうとご挨拶しました。

国立女性教育会館(嵐山町)を現地に残せ

移転が検討されています。日本のジェンダー平等の遅れに求められているのは予算の増額。地元の皆さんと視察し、改めて施設の重要性を感じました。



各地で広がる民間バス会社の撤退問題

「交通・移動は私たち国民の権利」バス存続を！！



対策会議中(正面の左から4人目が伊藤県議)



鳩山町でデマンド交通についてヒアリング

鳩山町のデマンドタクシーは、①埼玉医大定期往復便の他に、②時刻表なしで町内や坂戸市につきあい地区(商業施設あり)や北坂戸駅を運行する2方式です。②は平日の1日の利用者平均が75.5人と好評。国の交通不便地域に指定され補助金を活用しています。

運行日は 祝日・年末年始をのぞく毎日午前8時から午後5時。運賃は町内200円、につきあいは300円、北坂戸駅は600円です。予約は30分前まで電話で受け付け、「3人のオペレーターが見事に配車をしてくれています」とのことでした。料金の安さも勿論ですが、ここも魅力。鳩山町からも、国の財政支援の継続が強く求められました。

自治体で運行するコミュニティバスで、運転手不足を理由に民間バス事業者の撤退、料金値上げ、減便などの問題がおきています。

1月24日、党埼玉県委員会が対策会議を開き、伊藤岳参議院議員、梅村さえ子元衆議院議員、塩川鉄也衆議院議員の秘書はじめ県内市町の議員、県議団からは私が参加しました。

伊藤岳参院議員は、「運転手の賃上げや処遇改善が必要だ。事業者任せでは解決しない。交通・移動は権利で国や地方自治体の責務だ」と指摘。

私からは「県の財政支援は、DX を活用することを条件にしており、運営維持費については山間部に対してのわずかな補助金に留まっています不十分だ」と報告しました。

国の支援も近年、減額されています。今後、全県の運動として国や各自治体にむけて対策を働きかけていきます。★三芳町では地方公共交通計画が策定されます。ぜひ、ご意見を。



伊藤はつみ

県政のとびら NO.19

発行 日本共産党 伊藤はつみ県政事務所 2024年2月11日

〒356-0050 ふじみ野市ふじみ野3-10-39

電話・FAX 049-269-1811



With You さいたま(県男女共同参画推進センター) “女性県議と話しましょう” ワークショップで交流

さいたま新都心のWith youさいたまで開かれた埼玉婦人問題会議企画に日本共産党から城下のりこ県議と私で参加させていただきました。県議会93人中、女性県議は15人。

なぜ議員になったのか、女性議員の苦労話など、自己紹介後には、会場の皆さんからの質疑応答でした。昨年の埼玉県虐待禁止条例改正案への考えや、女性の賃金問題、困難を抱える女性への支援制度、県立高校の共学化等についての質問もいただきました。他党派の県議の皆さんの考えも聞くことができ、あらためて男女共同参画について考える時間を持つことができました。



相談、講座や研修、たくさんの本など情報発信、活動支援など誰でも利用できます。
のんびり、本を読む1日もいいですよ。

三芳スマートインターフル化

上下線開通 3月10日15時

車長12メートル以上の大型車が通行可能となります。出入り口周辺には物流倉庫が増えており、朝夕の幹線道路は大渋滞。安全対策は大丈夫なのか。開通前の安全対策はすべて完了したという説明ですが、引き続き対策を求めています。



新潟方面出入り口(1月25日撮影)

子ども医療費助成拡大・県立高校エアコン代公費負担に 埼玉県予算案の発表 2月20日から議会開会しました

党県議団が一般質問や委員会で取り上げてきた
要望項目が予算案に計上されました。主なものは、

①子ども医療費助成

就学前→通院は小学校3年生まで

入院は中学校3年生まで

所得制限は撤廃

②県立高校の普通教室へのエアコン設置・維持費

現在は保護者負担→公費負担へ

③医師確保のための奨学金の定員拡大

④県内私立高校の運営費助成と保護者への助成を 増額



お詫び:前号ニュースで通行可能
車両を12m以上と掲載しました
が12m以下に訂正します。

三芳スマートインター周辺 安全対策はまだまだ必要!

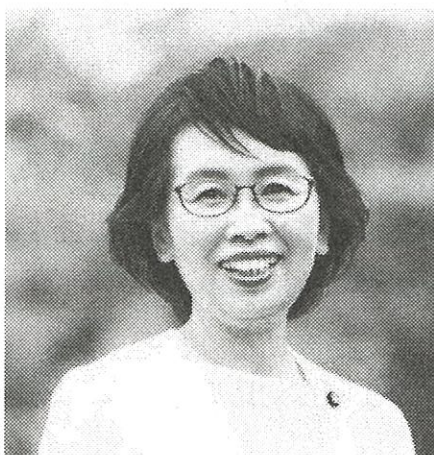
インターへのアクセス道
路では供用開始後に対策
を検討する箇所が多数残
されています。歩道もすべ
て整備はされていません。

周辺では緑も減り、お散
歩コースとしても利用され
ているために通る人が余
りの景観の変化に驚いて
います。

予算と時間はまだまだ不
足しています。



三芳中学校入口交差点



伊藤はつみ

県政のとびら NO.20

発行 日本共産党 伊藤はつみ県政事務所 2024年2月25日

〒356-0050 ふじみ野市ふじみ野3-10-39

電話・FAX 049-269-1811



保健所1階の受付で手続きボタンを押す



検査機器がたくさん(PCR室)

コロナパンデミックの教訓生かして

保健所の増設を・・・越谷保健所を視察

国は終戦直後の保健所法を1994年に改正(97年全面施行)、地域保健法としました。衛生環境の改善と民間医療機関の発展で、乳幼児が多く死亡するなどしていた時代が終わりを迎え、中心的役割を担ってきた保健所がその役割を終えたという声が出るような状況を鑑みてのことでした。それ以降、保健所の数は全国で半数程度に減少しています。

県内の保健所数は、1997年には23保健所・4支所ありました。しかし、2006年には半数以下の13保健所・11分室となり、更に2010年には分室が全て削減されてしまいました。富士見支所もそのひとつです。その後、さいたま市・越谷市・川口市・川越市については市で保健所を設置し、現在は13保健所・4か所となっています。

保健所・保健師を減らし続けてきたところに新型コロナウイルス感染拡大が加わり、保健所職員の最長時間外労働は月208時間にも及んだことが判明しています。保健所は、食品衛生、薬、動物管理、難病、精神保健など他業務を担っています。党県議団は、保健所の増設を求めています。



「平和憲法を未来へ」

2月19日上福岡駅前では憲法9条の大切さを訴えました。ロシアのウクライナ侵略から2年。日本から戦争NO!の声を一緒に。



「商売が続けられるように納税相談を」

物価高騰で零細事業者は大変。税金の取り立て強化では商売が継続できません。廃業に追い込まれることのないよう丁寧な対応を求めました。

埼玉の防災対策は大丈夫なのか

トイレや水など、防災拠点をチェックしています

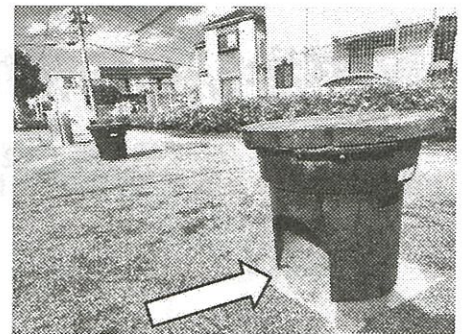
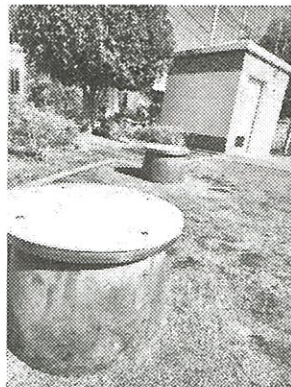


県は、災害対応の機能をもった県有施設を防災拠点として位置づけ整備しています。備蓄機能をもった防災基地5カ所、県営公園22カ所、防災拠点校38校、舟運輸送拠点(水上バス発着場等)、大規模施設(埼玉スタジアム、さいたまスーパーアリーナ)です。

今回は、所沢航空記念公園を視察。かまどベンチの座面を外すことや、マンホールトイレの開け方など見させて頂きました。東日本大震災後に整備されてきたといいますが、気づきにくいのが実態です。かまどや鍋があっても備蓄米はどこから調達するのか、倉庫にはありません。県の備蓄は、市町の備蓄を補完するものだと説明しますが、住民にとって県の施設なのか市町の施設なのかは関係ありません。救急時にすぐに対応できることが重要です。

発見！

三芳町富士塚第2公園のかまどベンチ。
わかりますか？



ふじみ野市川崎公園



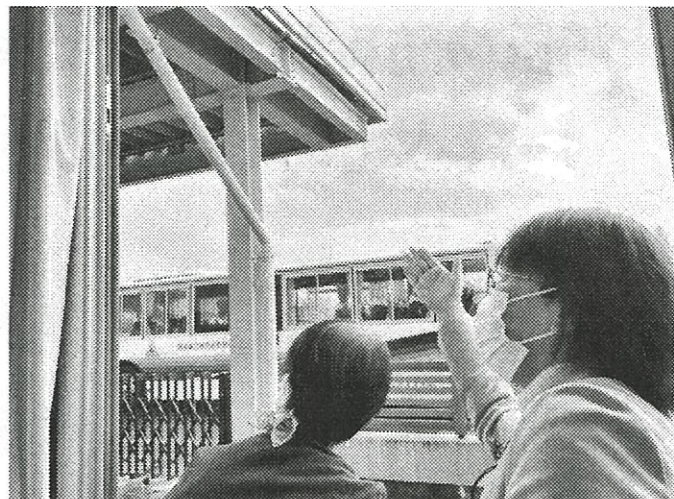
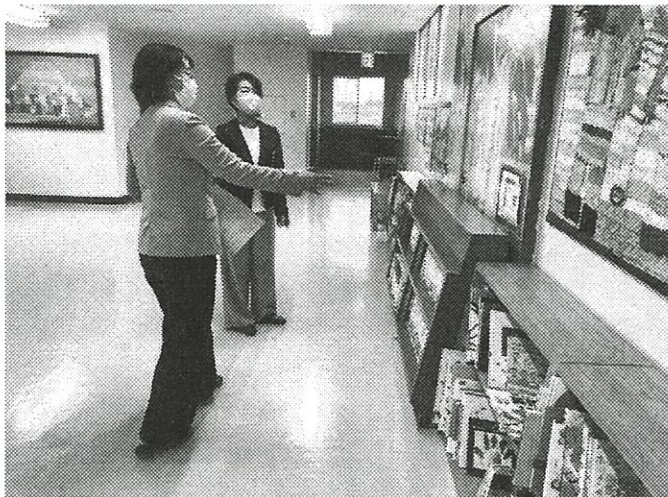
伊藤はつみ

県政のとびら NO.21

発行 日本共産党 伊藤はつみ県政事務所 2024年3月10日

〒356-0050 ふじみ野市ふじみ野3-10-39

電話・FAX 049-269-1811



特別支援学校の教室不足は深刻

「図書室も音楽室も普通教室に変えました」

児童生徒が増え続け、特別支援学校の特別教室を普通教室に変更したり、1教室を間仕切りしたりと限界が来ています。2023年には10年ぶりに岩槻に県立新校が開校しましたが、その他は増築や分校での対応に留まっています。

ふじみ野市と三芳町の児童生徒が通う所沢おおぞら特別支援学校でも教室の狭隘化は課題です。訪問した日は雨。「バスに乗り込むときに屋根がなくて苦労しています」という声もありました。所沢特別支援学校では、下校時の様子も見てきました。大型バスと放課後デイのワゴン車が何十台も並び、手をつなぎながら自分のペースでの下校を見守る教職員の仕事も大変です。党県議団は、学校の増設と教職員の増員を求めています。

朝鮮学校への補助を復活して！

朝鮮女性同盟の皆さんと懇談



「埼愛キムチ」の販売も財源のひとつだと話すみなさん

県は、埼玉朝鮮学校に1982年から支給してきた「私立学校運営補助金」を、2010年度から不支給としています。当時の上田知事は、不支給の理由を学校の経営問題だとし、「経営の健全性が確認できれば再開できる条件が整う」としていました。しかし、それが解消された今も、補助金は止められたままです。

県議会は12年3月の予算特別委員会で「拉致問題等が解決されるまで予算の執行を留保すべき」という付帯決議を付けました。私は、昨年の決算委員会で補助復活を求めたこととお話しました。



3. 13重税反対行動 「適切な申告と納税を」 川越税務署へ 400人を超える業者が自主申告

自主申告への不当な干渉をさせないとスタートした全国の行動。私は、3月13日に川越の並木西町公園で行われた55回目の川越地域集会に参加し、税務署まで1キロほどデモ行進してきました。「業者は1円単位で帳簿をつけ、営業や暮らしが苦しいなか納税しているのに、国会議員は脱税が許されているのか」と怒りの声ばかり。

私は、「企業が自民党にパーティー券でお金を渡してきた結果、大企業や富裕層ばかりに恩恵がいく減税が繰り返されてきた。国会での疑惑の徹底解明、企業・団体献金の全面禁止を求めていく。消費税率の引き下げ、インボイス中止させるために一緒に声をあげましょう」と連帯の挨拶を行いました。

福島第一原発の事故は忘れない

被災地では帰還困難地域が広く残されており、学校も病院も減りました。復興のためにと私たちから取り立てている復興特別税の半分が大軍拡のために使われます。こんな税金の使い方、私たちが求めたものではありません。原発はいらない！

(3月11日 ふじみ野駅前伊藤はつみ県議の訴え)



伊藤はつみ

県政のとびら NO.22

発行 日本共産党 伊藤はつみ県政事務所 2024年3月24日

〒356-0050 ふじみ野市ふじみ野3-10-39

電話・FAX 049-269-1811

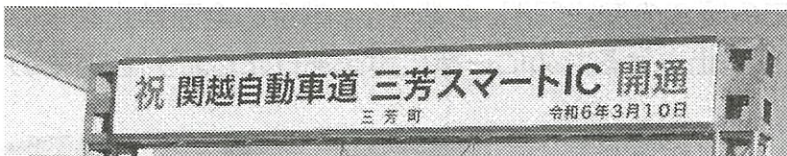
免許更新～窓口で現金支払いできない 埼玉の警察署と鴻巣免許センターだけ



県は昨年末、埼玉県収入証紙の販売を終了しました。そのため警察署と免許センターでの運転免許証の更新は令和6年1月以降、窓口での現金支払いができなくなりました。窓口では色々なカードの説明がされ、キャッシュレス決済できない場合はコンビニや金融機関で振り込んでから再度出なおすように説明されます。署内で交通安全協会がnanacoカードを販売しているので、300円の手数料を支払い購入することをすすめられたという人もいます。

地方自治法は「住民は、(略)その属する普通地方公共団体の役務の提供をひとしく受ける権利を有す」とあります。手続きに現金はダメだということは役務の差別です。県議団では、あらかじめ更新案内に振り込み票を添付するように求めています。

三芳スマートインター上下線 開通式 3月10日



交通安全を願って



三芳町ふるさと大使のタカさんが
開通式でたたいた太鼓



三芳町議員団と東京方面出入り口から出てくる車を見守る

2月県議会 今後の日程予定・・・ぜひ、傍聴にお出かけください

テレビ埼玉、県議会ホームページから生中継されます

3月26日(火) 10時～ 委員長報告

3月27日(水) 10時～ 委員長報告への質疑、討論、採決、閉会



「子どもの国保税引き下げを、 県としても国に働きかける」 県健康政策局長

国民健康保険税が高すぎます。所沢市では、所得200万円の4人家族で年間28万円以上にも上ります。特に、家族が増えるとその分保険税が増える「均等割り」の仕組みは、サラリーマンの健康保険に比べてもひどすぎます。5月8日、埼玉県社会保障推進協議会の皆さんとともに、埼玉県に対して①国保税の引き下げ②「子どもの均等割り」減免を③医療提供体制の強化を④健康保険証の廃止を中止するよう、の4点を申し入れしました。

「女性の年金が低すぎる……」

新日本婦人の会の高田さんは、「女性の年金はそもそも低いのに、そのうえ国保税や介護保険料が高すぎる。国保税は高齢者が入る保険制度になっているので、なるべく低く抑えてほしい。それに、生まれたての子どもからも均等に保険税をとるのはおかしい」と発言しました。

対応した横田淳一健康政策局長は「国保税の被保険者の負担が苦しいのは把握している。国に対しては負担軽減の拡充を要望している」「令和4年度から国の制度として未就学児の均等割りを半額とする制度になっているが、対象年齢や軽減割合の拡大を国に求めていく」と答えました。



大野元裕知事と新県議団

埼玉県議会初顔合わせ

本会議場に初めて入りました。伊藤はつみさんは28番。私はお隣で29番。山崎すなおさんは12番で私のななめ前です。執行部紹介、93人の全議員紹介を行いました。女性議員は14人でその内3人が私たち共産党です。

公約実現のために力あわせませう！



城下のい子の 県政 Weekly ニュース

発行 日本共産党埼玉県議団 2023年5月18日 NO. 1
〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1
048-824-3413 FAX 048-825-1048

原発汚染土の再利用実証事業の中止求める

署名、環境省へ提出!



5月9日、埼玉西部・土と水と空気を守る会と東京、埼玉の4つの市民団体とともに環境省へ2875筆の署名を提出しました。

所沢では予定地隣接の町会は反対の議決、市議会も全会一致で除染土持ち込みは認めない決議をしました。環境省は計画の撤回を決断すべきです。



文化財を未来へ!とことこタワーまつりに参加

とことこタワーまつり☺に行ってきました。

秋田家では所沢織物インスパイア商品もありました。何と私の故郷、石垣島のミンサー織の帯も素敵な藍色の器にも出会えました♪

国登録有形文化財の秋田家など、日本共産党は蔵の保存を提案してきました。大切な文化財を未来へ継承したい!多くの方々が保存活動に取り組んでいます。



本会議で、初質問しました



5月23日に開かれた臨時会で、物価高騰に苦しむ県民・事業者支援の補正予算案が提出され、私は党県議団を代表して質問しました。

「知事、このままでは、埼玉県の酪農家はなくなってしまう。」 一廃業させない決意を求める

埼玉県の酪農家は150戸ほどですが昨年15戸、1割が廃業し、このままではあと10年で埼玉県の酪農家はなくなる計算です。所沢市の畜産農家は昨年度の飼料代は500万円で、その前年より200万円の値上げであり、焼石に水だと語っているとして、「存亡の危機にある酪農業をこれ以上1戸も廃業させないための決意を求めました。大野元裕知事は「酪農家の状況については、家畜保健衛生所の職員が訪問し直接話を聞いて把握している。酪農家の安定的経営のために努力する。国にも要望する」と答弁しました。



城下のい子の 県政 Weekly ニュース

発行 日本共産党埼玉県議団 2023年5月29日 NO. 2

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1

048-824-3413 FAX 048-825-1048

「牛やっても、本当にもうからないよ！！」

所沢市柳瀬地区の畜産農家、イチゴ農家を訪問

5月21日、所沢市内農業者を訪問しました。物価高騰で飼料の値上がり！酪農が継続できなければ、牛の飼育も出来ません！必死で頑張っている畜産・酪農、農業を守り支えるのは政治の仕事です。切実な声に心が震えました！



初の委員会質問も頑張りました！！

福祉保健医療委員会で、物価高騰の影響を受ける福祉施設、医療施設等に対する支援について審議しました。保育所などには定員1人当たり4790円、高齢者施設には入所系定員1人当たり17800円、通所系は1施設205600円などが補助されます。



トラブルだらけのマイナンバー保険証

5月25日埼玉県保険医協会のみなさんが控室にお立ち寄りくださり懇談しました。本日県政記者クラブで記者会見だったそうです。協会が実施したマイナンバー保険証に関するアンケート結果で約7割がトラブルがあったとの回答でした。

現在の保険証廃止は撤回を。廃止すべきはマイナンバー保険証です。

